

日本の安全保障構想（戦略）を確立するための思考過程の一案を紹介

—我が国周辺諸国（地域）の脅威への対応はどうすべきか—



2017年9月

軍事戦略評論家（軍事・情報戦略研究所長） 西村金一

1. 安全保障戦略研究のポイント

周辺国の脅威を時間の尺度で見る。

- ・過去と現状の比較で、日本の安全保障戦略にどう影響するか、現在どうあるべきか？
 - ・現状と15年後の2030年頃の軍事情勢に及び得る「安全保障戦略」はどうあるべきか？
- を考察する。

2. 国家安全保障戦略及び防衛戦略の定義

- ・国家安全保障戦略とは

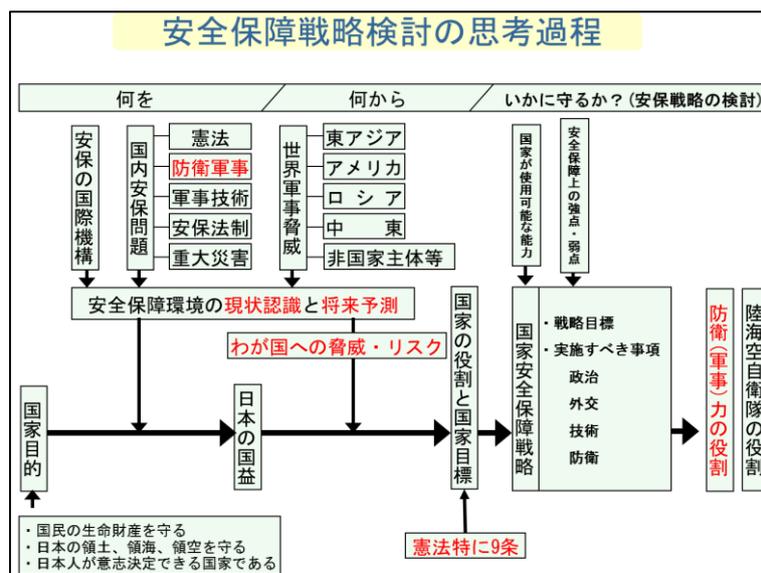
国家の安全を保障し、国策を維持するため、平戦時を通じて、国家の諸力（政治・外交、軍事、経済、心理等を）総合し、効果的に活用する（構想、計画、運用）戦略である。（国防用語辞典）

- ・防衛（軍事）戦略

敵の脅威を抑止するため及び有事においてその戦争目的を達成（敗北しない）するために、国の防衛力を維持・確保し運用する戦略である。（野外令解説書）

3. 戦略確立のための思考過程（一例）を説明する

パワーポイント例



出典：西村金一作成

4. 脅威を、戦略環境の現状認識（過去との比較）と将来予測（現状と将来の比較）から考える

(1) 国内情勢の分析

安全保障の観点（憲法、安全保障関連法制、日米同盟、専守防衛、治安など）から分析して、日本の安全保障上の問題点を明らかにする。

(2) 国外情勢の分析

周辺国の軍事力の変化を、過去と現在、現在と将来を比較して、脅威の変化を具体的に分析して明らかにする。

- ・世界全体を読み解く
- ・主要国の軍事情勢を分析する

脅威となる周辺国の分析

同盟国及び友好国の分析

- ・周辺各国の脅威を分析する

北朝鮮

中国

非国家主体（テロ組織）

ロシア、インド、東南アジア、国連など

- ・宇宙空間の脅威、サイバー空間の脅威分析

5. 我が国の安全保障戦略をどうするか

政治、外交、経済、技術、社会・教育、防衛（軍事）について、区分して考察する。

6. 日本の防衛戦略をどうするか、自衛隊の役割は

陸海空自衛隊の役割について、それぞれ考察する。